

【リュウキュウユビナガコウモリ】

土地の改変に伴いリュウキュウユビナガコウモリにとっては、表-6.12.1.2(16)に示すとおり、C洞窟が利用できなくなる。C洞窟ではリュウキュウユビナガコウモリは通年で見ても平均個体数は約1個体以下、確認頻度は約4%であり、石垣島内の個体群の中での個体数の割合は、1%に満たなかった(図-6.12.1.2(20))。これらのことから、石垣島のリュウキュウユビナガコウモリ個体群にとって、C洞窟は平均個体数や確認頻度及び石垣島内の個体群の中での個体数割合という面から見て比較的重要性は低いと考えられる。このため、C洞窟が利用できなくなることによる石垣島のリュウキュウユビナガコウモリ個体群の生息状況の変化は小さいと予測される。

表-6.12.1.2(16) リュウキュウユビナガコウモリの生息環境の変化

場所	利用状況	生息環境の変化
B洞窟 C洞窟 E洞窟	利用せず 稀 利用せず	ねぐらとしての利用ができなくなる
A洞窟 D洞窟	通年 利用せず	洞口周辺の樹林に改変はない